BUFFALO

FTD-G722AS2シリーズ
ユーザーズマニュアル

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書は弊社製液晶ディスプレイ製品 FTD-G722AS2シリーズの取扱方法や注意事項について解説しています。本製品を使用する前に必ず最後までお読みになり、正しく使用してください。なお、本書は必要なときにすぐに参照できるように保管してください。

- パソコンのアナログRGBコネクタに接続できます。
- 自動調整機能を搭載しており、画面表示を自動的に調整できます。【P15】
- スムージング機能を搭載しており、1280×1024ドットよりも低い解像度で拡大表示した場合でも、文字やグラフィックをなめらかに表示できます。【P5】

パッケージの内容 6

スタンドの取り付け 7

接続 8

使用する前に 10

WindowsMe/98/95を使用しているとき 10

Windows2000を使用しているとき 11

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用しているとき 11

WindowsXPを使用しているとき 12

Macintoshを使用しているとき 12

画面の調整 13

調整のしかた 13

自動調整のしかた 15

困ったときには 16

製品仕様 19

対応表示モード 20

スタンドの取り付け外し 21

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

本書に使われている表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的障害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△○●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告、注意を促す内容を示します。(例： 感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。(例： 分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例： プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

強制

電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

禁止

故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。修理のご依頼は、本書巻末の「修理について」を参照してください。

強制

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

電源プラグを抜く

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

警告

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

注意

シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

強制

水分はすぐに拭き取ってください。
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

注意

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

禁止

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

禁止

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

お手入れ

禁止

液晶パネルを乾拭きしないでください。

液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

禁止

溶剤を使用しないでください。

液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。

液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意

直射日光、高温・多湿に注意してください。

直射日光が当たる場所や周囲の温度が40℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制

使用条件を守って使ってください。

温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意

低温に注意してください。

室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意

急激な温度変化に注意してください。

動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止

次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。

- 強い磁界が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 静電気が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 振動が発生するところ .... けが、故障、破損の原因となります。
- 不安定なところ .... 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ ...... 故障や変形の原因となります。
- 漏電の危険があるところ .... 故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。

長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて

2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社では事業用で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。
詳しくは、弊社サポート＆サービスホームページ **86886.jp** をご参照ください。
※本製品は事業用製品です。一般家庭で廃棄される場合有料となります。

本製品の仕様について

● TFT液晶パネルは、精密な技術に基づいて製造されています。パネル内に画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがありますが、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● 画面に表示される縞模様（モアレ）について

2～3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示させると、画面上に「モアレ」とよばれる縦縞の干渉模様が表示されることがあります。これは発光色が相互に干渉することにより発生するもので、故障ではありません。縞模様が表示されたときは、最適な画質を得るために「画面に縞模様（モアレ）が生じる／ノイズが出る」【P17】を参照して画面表示の調整を行ってください。

● 本製品の推奨解像度は、1280×1024ドット（SXGA）です。

● 静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

OSのスクリーンセーバー機能などを使用して、静止画を長時間表示しないようにしてください。
こまめに電源をOFFにすることをおすすめします。

● 「スムージング機能」について

全画面表示に設定している場合に1280×1024ドット未満の解像度に設定すると、画面が拡大されてフルスクリーン表示になります。

このとき、文字やグラフィックをなめらかに表示するために、本製品は自動的に中間色を使った補完処理を行います（スムージング機能）。文字やグラフィックがにじんだように見えることがありますが、故障ではありません。

また、白地に黒文字を表示すると見づらいときは、コントラストを調整してください。【P13,14】

表示例

あ　あ

スムージング機能あり　スムージング機能なし

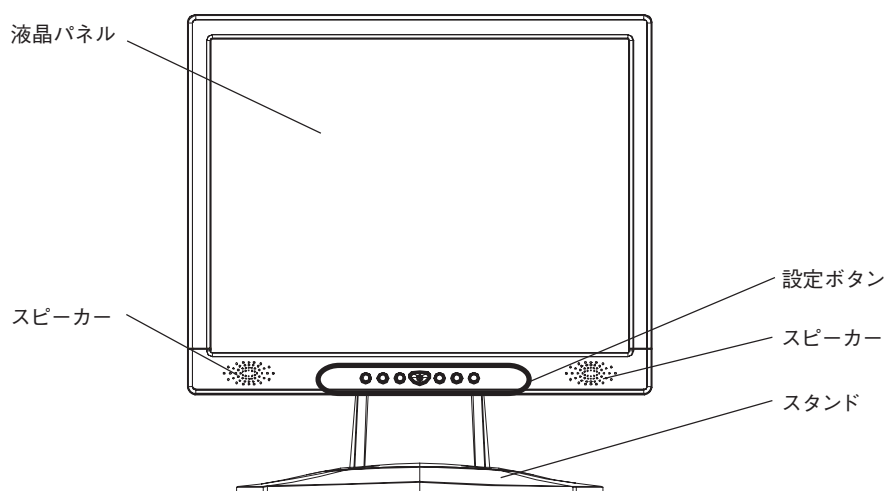
● パワーセーブ機能について

電力消費を抑えるため、一定時間パソコンを操作していない場合に自動的にパワーセーブ機能が働きます。
パワーセーブ機能が働くと、電源表示LEDがオレンジ色に点灯して画面表示が消えます。パワーセーブ機能が働いている状態では、消費電力は1W以下になります。
マウスを動かしたりキーボードのキーを押せば、通常の動作状態に戻ります。

※ パワーセーブ機能は、DPMS（VESA）機能を搭載するパソコンに接続し、省電力モードに設定されている場合にのみ働きます。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

● 本体 1台

● ACコード 1本

● スタンド 1個

● ステレオケーブル（φ3.5mmジャック） 1本

● フロッピーディスク「FTD-G722AS2シリーズ Utility Disk」（以降 Utility Disk と表記） . 1枚

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

● 保証書、ユーザー登録はがき 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ パッケージに別紙で追加情報が同梱されている場合は、必ず参照してください。

スタンドの取り付け

本製品は、出荷時にスタンドがはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、本製品にスタンドを取り付けてください。

机の上など、安定した場所で取り付けを行ってください。

1 本製品を机などの安定した台の上に起きます。

※液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

2 写真の向きになるようにスタンドを取り付けます。

スタンドが固定されると、「カチッ」という音がします。

接続

作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

1 本製品の背面から出ているディスプレイケーブルをパソコンのアナログRGBコネクタに接続します。

※ D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

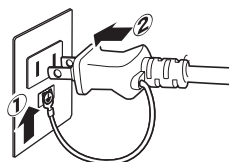
2 付属のステレオケーブルを本製品とパソコンに接続します。

3 **電源ケーブルを本製品に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。**

注 意

感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。

アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

4 **本製品の電源ボタンをONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。以上で接続は完了です。**

本製品の電源表示LEDが緑色に点灯します。

※ 次の状態のときは、電源LEDがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。

- パソコンから画像信号が来ていないとき
- 本製品が対応していない画像信号が来ているとき
- サスペンドモードになっているとき
  サスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

使用する前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

Windows Me/98/95を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

※ Windows95ではバージョンによって手順が一部異なります。次の手順で事前にバージョンを確認してください。
① [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
② 表示されたメニューの[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。
③ [ｼｽﾃﾑ:]に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。
バージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1 [コントロール パネル]を開き、[画面]アイコンをダブルクリックします。

2 [設定]タブ(Windows95では[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ)をクリックします。

Windows95(4.00.950/4.00.950a)の場合

① [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更(T)] ボタンをクリックします。
② [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類(M)] の [変更(N)] ボタンをクリックします。

WindowsMe、98、95(4.00.950 B/4.00.950 C)の場合

① [詳細] ボタンをクリックします。
② [モニター] タブをクリックします。
③ [変更(C)] ボタンをクリックします。

3 付属の「Utility Disk」をパソコンにセットします。

4 [ディスク使用(H)]ボタンをクリックします。

5 [参照(B)]ボタンをクリックします。

6 [ファイル名(N)]から「g722as2.inf」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

7 [配布ファイルのコピー元]に「A:¥」(下線部はフロッピーディスクドライブです)と表示されていることを確認して[OK]ボタンをクリックします。

8 [モデル(L)]に表示されたモニター名から「BUFFALO＜製品名＞」を選択して[OK]ボタンをクリックします。(＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります)

以上で設定は完了です。本製品の設定メニューで調整してから使用してください。【P13】

Windows2000を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

1. Windows2000を起動し、administratorでログオンします。
2. [コントロール パネル]を開き、[画面]アイコンをダブルクリックします。
3. [設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
4. [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
5. [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
6. [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
7. [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
8. 付属の「Utility Disk」をパソコンにセットし、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
9. [配布ファイルのコピー元]に「A:¥」(下線部はフロッピーディスクドライブです)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
10. [モデル]に表示されたモニター名から「BUFFALO<製品名>」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
    <製品名>には、お求め頂いた製品名が入ります。
11. 「次のハードウェアドライバをインストールします」と表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
12. [デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
    ※ マイクロソフト社によってWindows2000上での動作が確認されたソフトウェアには、デジタル署名が付けられています。2005年12月現在、本ソフトウェアにはデジタル署名が付けられていませんが、製品は正しく動作します。
13. [完了]ボタンをクリックします。
14. [閉じる]ボタンをクリックし、[プロパティ]を閉じます。
15. [OK]ボタンをクリックし、ドライバのウィンドウを閉じます。
16. [OK]ボタンをクリックし、[画面のプロパティ]を閉じます。

以上で設定は完了です。本製品の設定メニューで調整してから使用してください。【P13】

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用しているとき

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用している場合は、ハードウェア情報の登録作業は不要です。本製品の設定メニューで調整してから使用してください。【P13】

WindowsXPを使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

1. WindowsXPを起動します。
2. [コントロール パネル]を開きます。[クラシック表示に切り替える]をクリックし、[画面]アイコンをダブルクリックします。
3. [設定]タブをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。
4. [モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
5. [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
   ※ お使いのパソコンによっては、「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか?」と表示されることがあります。このようなときは、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
6. [ハードウェアの更新ウィザードの開始]画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
7. [検索しないでインストールするドライバを選択する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
8. 付属の「Utility Disk」をパソコンにセットします。
9. [ディスク使用]をクリックします。
10. [製造元のファイルのコピー元]にA:¥(下線部はフロッピーディスクドライブです)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
11. [モデル]に表示されたモニター名から「BUFFALO ＜製品名＞」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
    ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。
12. [このハードウェア…(中略)…Windowsロゴテストに合格していません]というメッセージが表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。
    ※ このドライバの動作テストは弊社にて行っています。2005年12月現在、このドライバに対してマイクロソフト社のロゴテストは行われていませんが、製品は正常に動作します。
13. [完了]ボタンをクリックします。
14. [閉じる]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。
15. [OK]ボタンをクリックし、[画面のプロパティ]ウィンドウを閉じます。

以上で設定は完了です。本製品の設定メニューで調整してから使用してください。【P13】

Macintoshを使用しているとき

Macintoshを使用している場合は、特別な作業は不要です。本製品の設定メニューで調整してから使用してください。【P13】

画面の調整

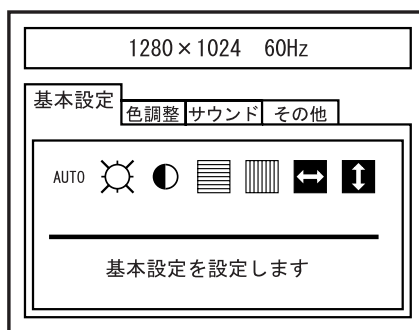
OSD機能を使って画面表示を調整します。

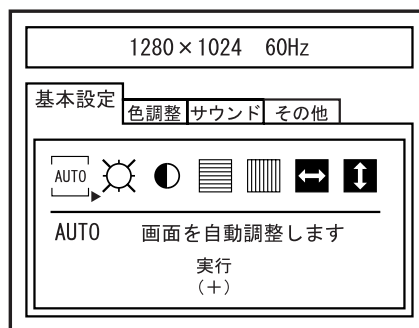
調整のしかた

※ 次の作業を始める前に本製品をパソコンに接続し、周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにしておいてください。

シンボル	機能
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDメインメニューで選択されたOSDサブメニューを開きます。
◀	・OSDメニュー画面でカーソルを左方向に移動します。 ・OSDメニューが開いていないとき、ECOモードの設定を行います。
▶	・OSDメニュー画面でカーソルを右方向に移動します。 ・OSDメニューが開いていないとき、コントラストの調整を行います。
⏻	電源のON/OFFを行います。
−	・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下降)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、ミュートを設定します。
＋	・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整を行います。
AUTO/EXIT	・OSDメニューを閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整をします。

■ OSDメインメニュー画面

MENUボタンを押すと、最初に表示される画面です。設定項目がタブに表示されています。

■ OSDサブメニュー画面

メインメニュー画面で、MENUボタンを押すと表示される画面です。
ここで各項目の詳細な設定を行います。

次の手順で調整します。

1. MENU ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. ◀ または ▶ ボタンを押して項目を選択し、MENU ボタンを押します。（サブメニューが表示されます）
3. ◀ または ▶ ボタンで設定したい項目を選択し、－または＋ボタンで設定値を変更します。
4. AUTO/EXIT ボタンを押して、メインメニューに戻ります。
5. AUTO/EXIT ボタンを押して、メインメニューを閉じます。

項目	内容	設定範囲
基本設定		
自動調整	画面の位置、フェーズ、クロックを自動調整します。	実行する
輝度(*1)	画面の明るさを調整します。	0〜100
コントラスト	画面の濃淡を調整します。	0〜100
フェーズ(*2)	画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します。	0〜100
クロック(*2)	画面に縦の縞模様(モアレ)が出る場合に調整します。	0〜100
水平位置	画面の位置を調整します。	0〜100
垂直位置		
色調整		
自動色調整(*3)	色合いを自動で調整します。	実行する
色温度(*3)	画像の白色部分が赤味を帯びていたり、青味を帯びているときに調整します。印刷時やフォトレタッチ時など用途にあわせて調整してください。	USER/6500/7500/9300 sRGB
赤	赤の濃淡を調整します。	0〜100(*5)
緑	緑の濃淡を調整します。	
青	青の濃淡を調整します。	
サウンド		
音量調整	スピーカの音量を調整します。	0〜100
消音	音量を消音します。	消音しない/消音する
その他		
OSD言語(*4)	OSD設定メニューの表示言語を選択します。	日本語/English
OSD水平位置	OSD設定メニューの表示位置を調整します。	0〜100
OSD垂直位置		
OSD透過率	OSD設定メニューの透過率を調整します。	0〜100
スムージング	スムージングをするかしないかを選択します。	設定しない/設定する
画面情報	現在の設定の情報を表示します。	ー
設定リセット	設定を購入時の状態に戻します。	リセットする

*1 ECO モード中に輝度設定画面を表示した場合、ECO モード時での輝度を調整します（0～100）。

*2 自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で設定してください。

*3 画像の色合いが正しくないときは、自動調整します。自動調整を行っても正しく表示されない場合は、色温度を変更してください。

*4 OS やアプリケーションで使用する言語は変更されません。

*5 「色温度」の設定値を「USER」にした場合に有効になります。

■ ECOモードの設定

OSDメニューが開いてないときに◀ ボタンを押すとECOモード設定画面が表示されます。

ECOモード設定画面では、次の項目を選択できます。

・MAX　最大輝度で表示します。

・USER　OSDメニューで設定された輝度で表示します。

・ECO　電力を抑えたモードになります。ECOモード時の輝度を変更したいときは、ECOモードでの表示中に、OSDメニュー[基本設定]-[輝度]で調整してください。

■ OSDロックの設定

誤ってOSDボタンを操作しても機能しないように、OSDにロックをかけることができます。

ロック手順　OSDメニューが開いていないときに、MENUボタンを約5秒間押し続けることでロックをかけることができます。

ロック解除手順　MENUボタンを約5秒間押し続けることでロックを解除することができます。

自動調整のしかた

本製品は、最適な画面表示が得られるよう自動的に調整を行う機能を搭載しています。
初めて本製品をパソコンに接続したときなどは、まず自動調整を行ってください。

※ MS-DOSプロンプトなど黒色部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調節を行っても、十分な効果が得られないことがあります。Windows(3.1を除く)をご使用の方は、付属ディスク「Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行し、画面調整用の画像を表示させてから自動調整を行うことをおすすめします。Windows3.1を使用している方は、1ドットずつの白黒市松模様など調整に適した画像を作成し、表示されることをおすすめします。

1. **周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

2. **「Utiltity　Disk」をパソコンにセットし、LCDADJ.EXEを実行します。**
   画像(画面いっぱいにグレーの色が表示されたように見えます)が表示されます。

3. **AUTO/EXITボタンを押し、MENUボタンを押します。**
   自動調整が行われます。

   ※ Macintoshの場合はOSが起動し、画面表示が静止したらAUTO/EXITボタンを押し、MENUボタンを押してください。

   ※ 調整には数秒かかります。その間は設定メニューの操作はできません。自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整してください。

困ったときには

本製品の使用時に起こりうるトラブルの内容と対処方法を説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

画面に何も表示されない

原因① ▶ ディスプレイケーブルと、ディスプレイまたはグラフィックボードとの接触不良が考えられます。

原因② ▶ パソコンに取り付けたグラフィックボードの接触不良が考えられます。

原因③ ▶ パソコンに取り付けたメモリの接触不良が考えられます。

対応①～③ ▶ パソコンの電源スイッチをOFFにしてからグラフィックボード、ディスプレイケーブル、メモリを接続し直してください。

電源スイッチがONのままディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本製品を破損する場合があります。

原因④ ▶ 明るさが最も低い状態に設定されている可能性があります。

対応④ ▶ 設定メニューの[輝度]で画面の明るさを調節してください。【P14「輝度」】

原因⑤ ▶ 電源がOFFまたはサスペンドモードになっている可能性があります。

対応⑤ ▶ 電源表示LEDが消えているときは本製品の電源がOFFになっています。電源ボタンを押してONにしてください。
電源表示LEDがオレンジ色で点灯しているときは、サスペンドモードになっています。キー入力やマウスを動かすなどの操作を行って、サスペンドモードから復帰してください。

原因⑥ ▶ 本製品が対応していない解像度が選択されています。

対応⑥ ▶ 表示モードの設定時に、本製品が対応していない垂直周波数(Refresh Rate)を選択しないでください。【P20「対応表示モード」】
万一、対応外の周波数を選択してしまった場合は、画面に何も表示されなくなったり、表示が乱れたりします。(インターレースの場合は画面が分割されるなど、正常な表示が行えません)。その場合は次の方法で正しい周波数を選択し直してください。

<Windows98/95/Me/XPの場合>
Windowsをsafeモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

<Windows2000/NTの場合> WindowsをVGAモードで再起動し、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

<Windows3.1の場合> DOS上でSETUP.EXEを起動し、ドライバにVGAを選択してからWindowsを再起動してください。再起動後、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

※設定可能な垂直同期周波数は、「対応表示モード」【P20】で確認してください。
パソコンに取り付けているグラフィックボード(パソコン内蔵のもの含む)によっては、設定可能範囲以外の数値(例:90Hz、100Hz)を選択できる場合がありますが、必ず本製品の対応周波数の範囲内【P20】で選択してください。

Windowsの画面でタスクバーが表示されない

原　因▶　仮想スクリーンモードで、画面の下側が表示領域の外に出ています。

対応①▶　マウスカーソルを画面の一番下に移動すると、画面全体がスクロールしてタスクバーが表示されます。

対応②▶　仮想スクリーンモードを使用しないようにするときは、次の操作を行って解像度を下げてください。

1. デスクトップ上でマウスの右ボタンをクリックし、表示されたメニューから[プロパティ(R)]を選択します。
2. [画面のプロパティ]画面が表示されたら、[設定]タブ(Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ)をクリックします。
3. [画面の領域](Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ領域])のスライドバーをドラッグして移動させ、解像度を下げます。

画面に縞模様(モアレ)が生じる／ノイズが出る

2～3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示すると、モアレと呼ばれる干渉縞が生じます。

原　因▶　[フェーズ]と[クロック]が正しく調整されていません。

対応①▶　Windows(3.1を除く)をお使いの方は、本製品付属のプログラムで、調整用の画面を表示できます。次の手順で調整してください。

※ 次の操作は、使用する解像度、垂直周波数(Refresh Rate)で行ってください。

1. 本製品付属の「Utility Disk」をパソコンにセットし、ディスク内のLCDADJ.EXEを起動します。
2. 「自動調整のしかた」【P15】の手順にしたがって、自動調整をします。
   調整には数秒かかり、その間は設定メニューの操作はできません。

正しい画面状態

自動調整を実行しても縞模様が解消されないときは、続いて次の操作を行います。

1. 本製品のMENUボタンを押します。
   設定メニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ ボタンを押して「基本設定」を選択し、MENUボタンを押します。
3. ◀ または ▶ ボタンで「クロック」を選択します。
4. ーまたは＋ボタンで値を変更し、最適な表示になるように調整します。

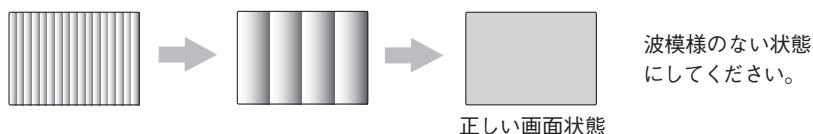
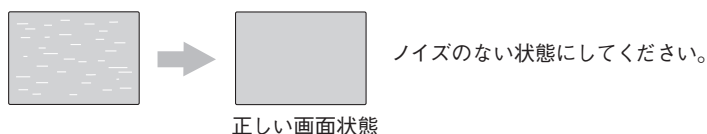
正しい画面状態

波模様のない状態にしてください。

5 ◀または▶ボタンで[フェーズ]を選択します。

6 ーまたは十ボタンで値を変更し、最適な表示になるように調整します。

正しい画面状態

ノイズのない状態にしてください。

7 AUTO/EXITボタンを2回押します。
変更した設定内容が保存され、設定メニューが終了します。

8 リターンキーなどの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックします。

LCDADJ.EXEが終了し、通常のWindows画面が表示されます。

対応② ▶ デスクトップパターン(壁紙)にモアレが生じるときは、各OSのヘルプを参照してデスクトップパターンを変更してください。

ノイズが出ないよう調整したにもかかわらず、アプリケーション実行時に画面が乱れることがある(特に動画再生時)

原　因 ▶ 画面の調整中に、ノイズが解消できるポイント(設定メニューの[フェーズ])の設定値が2箇所ある場合があります。2つの解消ポイントでの画面表示は同じように見えるため、どちらを設定値に選んでもノイズは除去できたように見えますが、設定値が異なるため、調整後のアプリケーション画面でノイズが発生することがあります。
その場合は、選択したポイント以外のポイントを選択し直す必要があります。

対　応 ▶ 再度設定メニューの[フェーズ]でノイズを除去する設定を行ってください。このとき、一度出荷時設定に戻すと設定しやすくなります。

※ 出荷時設定に戻すには、OSDメインメニューで「その他」を選択してMENUボタンを押し、サブメニュー画面で「設定リセット」を選択して、十ボタンを押します。出荷時設定に戻した場合、画面のサイズや位置など全ての項目が出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。必要ならば他の設定項目も再設定してください。

自動調整で思い通りの結果が得られない

原　因 ▶ 調整中の画面表示が適切でない

対　応 ▶ 調整結果は、実行の際に表示されている画面に影響されます。
もっとも効果的なのは、1ドットずつの白黒市松模様が全体に表示された画面です。
DOSなどの黒い部分が多い画面や、アプリケーション画面では十分な効果が得られない場合がありますのでご注意ください。
Windows(3.1を除く)をご使用の方は、付属ディスク「Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行すれば、この画像が表示されます。Windows3.1をご使用の方は適切な画像を作成し、表示されることをおすすめします。

> 上記の対策を行っても、画像信号の状態によっては(複数に分岐している、ノイズが発生している、など)十分な結果が得られないことがあります。あらかじめご了承ください。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

パネル	17型　カラーTFT液晶(※1)
解像度(最大)	SXGAサイズ(1280×1024ドット)
表示面積	337.9(H)×270.3(V)mm
ドットピッチ	0.264(H)×0.264(V)mm
色数(最大)	1619万色(疑似フルカラー)
輝度(平均)	300cd/m²
コントラスト比(平均)	500:1
視野角度	上80°　下80°　左80°　右80°
入力信号方式	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω)　セパレート同期信号(TTL)
入力端子	D-sub 15ピン(ミニ、3列タイプ)(※2)
DDC	DDC 2B
対応周波数	次ページ「対応表示モード」参照
電源	100V AC±10%　50/60Hz
消費電力(最大)	40W(省電力モード時:1W以下)
スピーカー	出力1W(最大)×2
外形寸法	375(W)×393(H)×190(D) mm
重量	FTD-G722AS2:4.1kg　FTD-G722AS2/F:4.9kg
動作環境	温度　10～35℃　湿度　結露無きこと

※1 FTD-G722AS2/Fでは、パネルに保護ガラスが装着されています。取り外すことはできません。

※2 D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

OSD機能について

OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。
ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。
画面の表示サイズや表示位置、明るさ、コントラストなどを設定できます。

対応表示モード

本製品は次の表示モードに対応しています。

ビデオ信号	解像度	ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×350	25.2	31.5	70
VGA(PC-98)	640×400	25.2	31.5	70
VGA	640×480	25.2	31.5	60
	720×400	28.3	31.5	70
VESA VGA	640×480	31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
VESA SVGA	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
VESA XGA	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.8	60.0	75
XGA	1024×768	78.4	57.7	72
VESA	1152×864	108.0	67.5	75
	1280×960	108.0	60.0	60
VESA SXGA	1280×1024	108.0	63.9	60
		124.9	74.4	70
		135.0	79.9	75
SXGA	1280×1024	134.6	77.9	72
MAC13″ MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16″ MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19″ MODE	1024×768	80.0	60.2	75
MAC21″ MODE	1152×870	100.0	68.7	75

※ 1280×1024ﾄﾞｯﾄでの使用をおすすめします。

※ 垂直周波数が60Hzの表示モードで使用されることをおすすめします。

※ 上記以外の信号でも表示できることがあります。

※ 上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

液晶ディスプレイの特性

液晶ディスプレイには次のような特性があります。

・色純度の劣化　白黒反転表示や明るい画面で長時間使用を続けると、色純度が劣化することがあります。その場合は輝度を調整してください。

・焼き付き　静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。スクリーンセーバー機能などを使用するか、こまめに電源をOFFにすることをおすすめします。

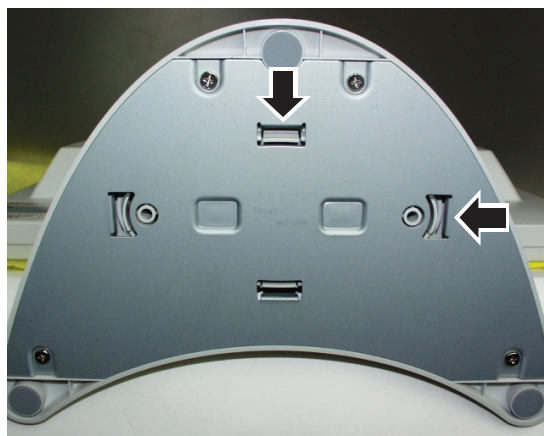
スタンドの取り外し

本製品を箱に入れる場合など、スタンドを取り外す必要がある場合は、以下の手順にしたがってください。

・ スタンドの取り外しは、必要な場合（購入時の箱に入れて輸送する場合など）のみ行ってください。何度も取り外すとスタンドのツメの部分が痛む可能性があります。

・ スタンドは非常に固くロックされていますので、取り外しの際はご注意ください。

1 本製品を机などの安定した台の上に起きます。
※液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

2 スタンドを固定しているツメの部分（2箇所）を矢印の向きに押して、ロックを外します。

3 スタンド全体を手前に引くとスタンドが外れます。

FAX NO. 052-698-2099　株式会社バッファロー　サポートセンター行

※ FAXでのお問い合わせには、この問い合わせ票をご使用ください。

液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ問い合わせ票

お問い合わせ日　　　　年　　月　　日

弊社製品名(保証書などをご参照ください)

ＦＴＤ－

(ｼﾘｱﾙNO　　　　　　　　　　　　　　　)

使用ﾊﾟｿｺﾝ：

ﾒｰｶｰ：

解像度	表示状態
640×480	
800×600	
1024×768	
1280×1024	
起動時	

ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ

現象：

使用OS：　　　　Ver.　　　　ｻｰﾋﾞｽﾊﾟｯｸ：

使用ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ：

詳細：　　　　(別紙 有・無)

貴社名		ご氏名	
ご住所		ＴＥＬ	
		ＦＡＸ	

平日9時～17時にご連絡可能な電話番号を明記頂ければ幸いです。

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

■BUFFALO™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般のOA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・ 医療機器や人体に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・ 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品をいったんパソコンから取り外してください。パソコンから取り外したことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本製品と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・本製品と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本製品と、ラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。

本製品の規格に関して

弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

FTD-G722AS2シリーズユーザーズマニュアル

2006年2月16日 第3版発行
発行　　株式会社バッファロー

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 **マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。**

2 **弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。**

インターネット

製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 **上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。**
バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③～⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

東京第一センター	03-5781-7260	月～金 9：30～19：00	土 9：30～18：00
東京第二センター	03-5365-3101	月～金 9：30～19：00	土 9：30～18：00
IP電話	050-3101-0084	月～金 9：30～19：00	土 9：30～18：00
名古屋	052-619-1188	月～金（祝日除く）9：30～17：00	

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457－8570　名古屋市南区豊田3－3－5

4 **修理は以下へご依頼ください。**　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。
バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒457－8570　愛知県名古屋市南区豊田3－3－5
株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号　052-698-7330　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
月～金（祝日を除く）　9:30～12:00　13:00～17:00
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。
修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 **ユーザ登録について**
弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）でユーザ登録が可能です。
※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

＊ 弊社では、本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後5年間保有しています（弊社品質基準に適合した相当部品を含む）。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバッファローサポートセンターまでご相談ください。

R100　この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

大豆油を原材料として使用した、環境にやさしいインキを使用しています。

PY00-31215-DM10-03　3-01　C10-009